

トイレが変わる、トイレで変わる

# 学校トイレの 挑戦!

小中学校をさらに下回る  
県立高校トイレの洋式化率36%  
最新全国自治体アンケート調査報告  
今、学校に求められる水まわりとは  
学校トイレの最新現場事例

◇特別付録  
トイレをきれいにする方法&  
学校トイレ清掃管理マニュアル ポスター

内閣府インタビュー

## 災害避難所トイレの 確保と管理を考える

# はじめに

2017年「学校のトイレ研究会」は、災害対策をテーマとした講演会を全国13会場にて開催し、約900名の官公庁・自治体・学校・設計者様にご来場いただきました。

うち9会場では、内閣府の石田参事官補佐に基調講演をいただき、質疑応答ではトイレ対策について活発な議論も交わされました。

災害をご経験された自治体のご参加も多く、研究会も多くのことを学びました。今まさに、官民挙げての災害対策とそれに向けたトイレ改善が、全国的な急務となっています。

2016年11月に、文部科学省から全国小中学校の洋便器率がまだ43%であることが公表され、それ以降、全国各地で急ピッチで洋式化が進められています。

従来からの慣習や精神論、あるいは非科学的な清潔感といったものから脱却して、科学的な感染対策の観点や、災害時にすべてのトイレを高齢者や障がい者でも使いやすくする観点から、100%洋式化を指針とする自治体が増えていきます。

2017年11月に、「学校トイレの洋式化を推進する議員ネットワーク」から、宮城県を除く全国公立高等学校の洋式化率が、小中学校を下回る36%であることが報告されました。災害対策と教育環境改善の双方から、早期洋式化が望まれるところで、トイレ環境が改善されると、子ども

もたちのストレスは確実に軽減されます。100%洋式化し、明るくてきれいで、何の違和感もなく入れるトイレを目指した岐阜県の安八町立結小学校では、改修後のアンケートで、我慢をしていた子どもたちの8割以上が「我慢することが減った」と答えていることがわかりました。また、全フロアに初めて設置された「みんなのトイレ」について、7割以上の子どもたちが良いことと認識して歓迎しています。

愛知県の豊川市立一宮西部小学校では、「みんなのトイレ」を活用した、性的マイノリティに関する先進的な教育が行われていますが、大人の躊躇を通り越して、素直に教育を受け入れる子どもたちには、はつとさせられます。

誰もが使えるトイレが学校に増え、子どもたちがその理解を深めていく様子を伺うたび、その思いやりの気持ちに満ちた姿に、多様なコミュニケーションを広げていく将来像が見えてきます。学校トイレの改善には、そんな未来への扉も開かれていると思えます。

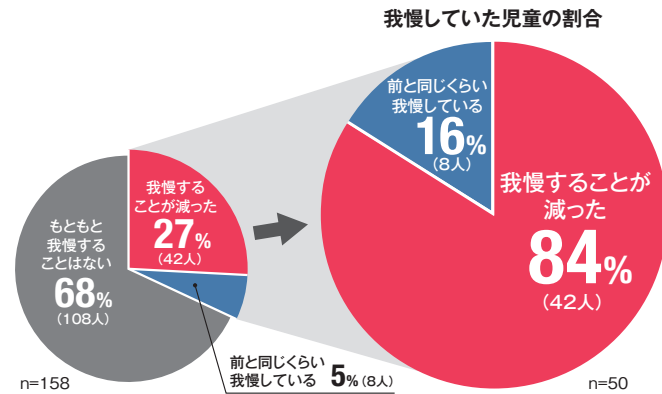


学校のトイレ研究会  
事務局長  
河村 浩

## トイレ改修後の子どもたちの ストレスは確実に軽減!

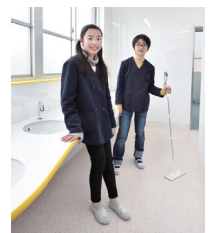
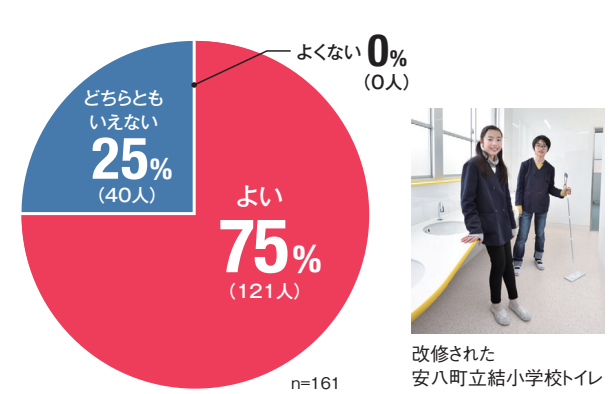
「安八町立結小学校」トイレ改修後のアンケート調査結果（対象：4,5,6年生、2018年3月、165名）※26ページの事例紹介を参照ください。

**Q1.** 学校のトイレが新しくなって、トイレに行くのを我慢することが減りましたか？



3割以上の子どもたちがトイレを我慢していた中、  
8割以上が「我慢することが減った」と回答

**Q2.** 新しいトイレには「みんなのトイレ」ができましたが、あなたはご感想はありますか？



改修された  
安八町立結小学校トイレ

全フロアに初めて設置された「みんなのトイレ」について、  
7割以上の子どもたちが  
良いことと認識して歓迎

### CONTENTS

#### 03 災害避難所トイレの確保と管理を考える 内閣府 石田耕一さん

##### 学校トイレの最新現場事例

- 07 熊本県球磨郡あさぎり町立あさぎり中学校
- 16 石川県白山市立北辰中学校
- 20 埼玉県三郷市立幸房小学校
- 23 東京都立川市立立川第二中学校・立川市立第六小学校
- 26 岐阜県安八郡安八町立結小学校
- 29 愛知県豊川市立一宮西部小学校

##### 高校洋式化

- 10 小中学校をさらに下回る 県立高校トイレの洋式化率36%
- 12 大阪府立泉北高等学校

##### 最新全国自治体アンケート調査報告

- 14 今、学校に求められる水まわりとは

# 災害避難所トイレの確保と管理を考える

2016年発生した熊本地震では、多くの学校施設が避難所として活用されました。一方で、トイレの確保や管理についてさまざまな不便も発生しました。今回は、避難所等における被災者支援に取り組む内閣府の石田耕一さんに、避難所における学校トイレの確保・管理のあるべき形についてお話を伺いました。



内閣府  
石田 耕一さん  
内閣府政策統括官(防災担当)付  
参事官(被災者行政担当)付  
参事官補佐



内閣府防災情報のページ  
<http://www.bousai.go.jp/index.html>

## 避難所トイレの課題は衛生面やトイレの数など

東日本大震災や熊本地震では、避難所となる学校トイレで、特に和式便器が使えず、避難所の劣悪な環境に困ったという悲惨な状況がありました。石田さんは、この状況をどのように受け止めているのでしょうか。

石田 学校のトイレだけの話ではありませんが、熊本地震に関しては『平成28年度避難所における被災者支援に関する事例等報告書』にもまとめさせていただき、被災した方にトイレについてのアンケートを取りました。『熊本地震において避難所のトイレについて該当するものを選択してくだ

## 避難所を前提にした学校整備計画が重要

避難所トイレの整備はどのように進めていったらよいのでしょうか。

石田 今、自治体では、限られた予算の中で避難所となる施設の整備を進めていただいています。トイレを含めて、学校があらかじめ被災者を受け入れる避難所としても使われることを前提に、しっかりと整備をしていただくのが最も効果的ではないかと考えています。学校施設全体が指定避難所として指定されている場合でも、避難所として利用されるのは、一部の施設です。現在、学校の多くは体育館を避難所(居住スペース)としています。一部の教室や保健室を福祉避難所とすることも考

図1. 熊本地震避難所調査(設備面)

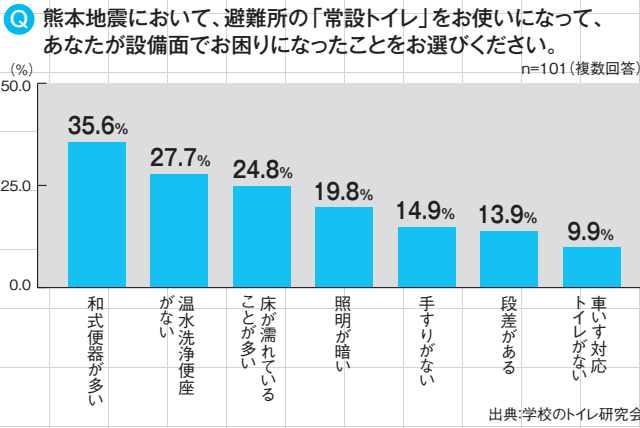


図2. 熊本地震避難所調査(運用面)

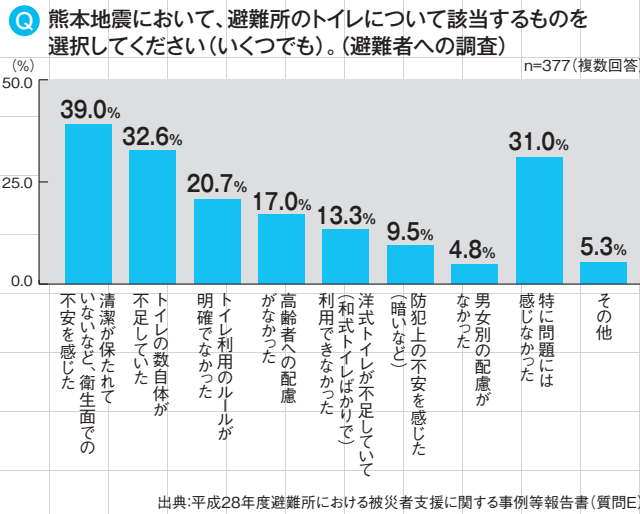
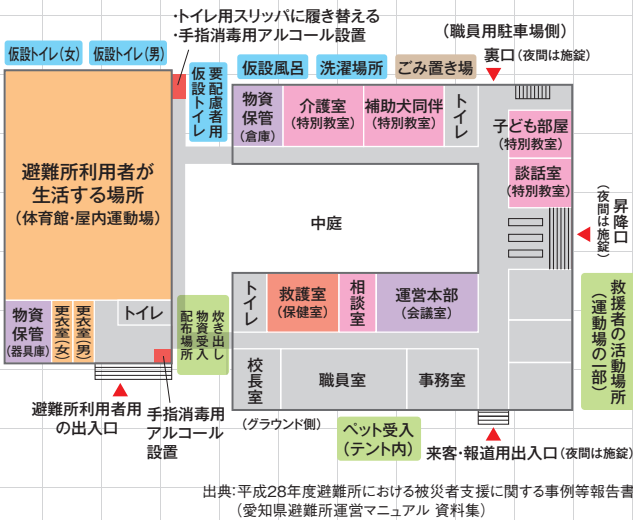


図3. 避難所の空間配置図の事前作成例(全体図)



えて事前に整備してはどうでしょうか。例えば、バリアフリー化を進め、高齢者や障害者などの要配慮者の方が使いやすいよう多機能トイレを整備しておくことなどが考えられます。

学校の整備と避難所の整備を別々に考えるのではなく、避難所に使われることを前提に、教室や保健室、トイレなどを改修していくことで、全体として、施設整備の費用が抑えられることもあると考えています。

現在、学校の多くは3〜4階建てですが、全館を避難所として機能するように改修するには膨大な費用がかかります。避難所と

して利用されるのは一般的には移動のしやすい1階です。災害時を見据えて、学校施設利用計画(空間配置図)を作成していれば、避難所として利用するエリアの範囲や利用方法を具体的に想定した上で必要な箇所のみ限定して、改修に着手することができるとは考えられていません(4ページ図3参照)。

**防災機能に着目した支援が拡充している**

石田 発災時は、学校のトイレは、児童生徒、先生だけでなく、地元住民の方など、避難してきた人たちも使うことになりました。そのため、トイレの数が足りない場合には、仮設トイレなどの応急措置に係るリース等の費用についても、災害救助法が適用される災害であれば、内閣府は国庫負担の対象としています。

東日本大震災をきっかけに、国からの補助や支援が変わった点などはあるのでしょうか。

石田 学校施設については文部科学省から支援が行われていますが、東日本大震災後には、それに加えて平成24年に、防災機能を強化するための施設整備費について拡充しています。

もう一つ変わったのが、総務省

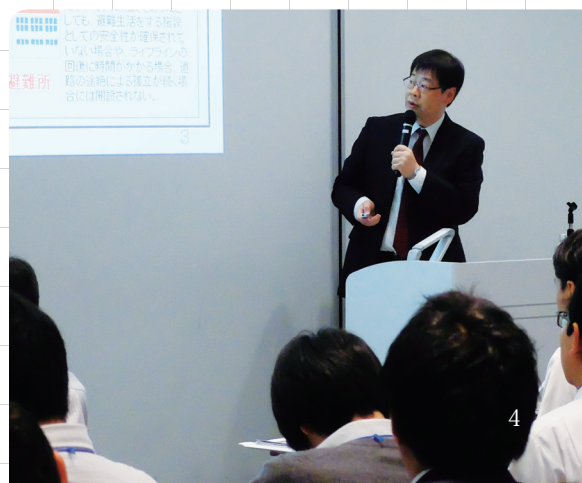
消防庁による「緊急防災・減災事業債」です(5ページ図4参照)。

対象事業の中に、「指定避難所における避難者の生活環境の改善のための施設の整備」があります。具体的には、空調・WiFi等とありますが、和式便器を洋式便器に改修することも対象となる可能性もあります(参考:総務省消防庁「平成29年度地方債についての質疑応答集」)。

全国の公立小中学校の施設整備は、予算の問題などがあり、トイレ改修に至っては、なかなか進展していないのが現状です。指定避難所であれば、学校の施設整備のために、この事業

学校のトイレ研究会でも、熊本地震で避難所となった11カ所の施設を調査しました。長期間断水したのは特に被害の大きかった地域の2カ所だけで、それ以外は断水していない、または極めて短期間の断水でした。ところが、数少ない洋式便器に長蛇の列ができた話や、清掃が行き届かず劣悪な環境が続いたという話は、断水の有無にかかわらず県内全域で伺うことができました。

石田 平成29年の九州北部豪雨災害の際も、被害の大きかった集





九州北部豪雨の被災地となった福岡県朝倉郡東峰村の公民館トイレの様子。

落では上下水道は断水していましたが、避難所のトイレは断水もなく使えました。

住民の方の中には水だけを取りに来て、自宅で生活される方もいました。ややもすると災害時は断水するから既設トイレを整備しても仕方がないと思われる方もいるようですが、それは全くの誤解です。まずは既設トイレをストレスなく使用できるようにできるだけ整備しておき、その上で仮設トイレの準備、マンホールトイレの設置などの対策も講じておいた方が好ましいということです。

2016年4月に内閣府(防

災担当)が発表した「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」(以下「トイレガイドライン」という)に、「高齢者や障害者等にとっては、和式便器の使用は極度

に困難であるので、既設トイレを洋式便器化していくことが望ましい。特に、避難所となる施設の新設や大改修の際には洋式便器の設置や災害時の水使用の観点から、節水型に置き換えていくことを推進すべき」と明記しています(5ページ図5参照)。

断水中は、限られた貯水からバケツで水を運んで流すことも多いため、1Lの水が貴重であり、1回の洗浄水量1Lでも少ない便器が望ましいとの話は、東日本大震災でも多くの方から伺いました。

被災地でのトイレ利用には、例えばどんなルールがあるべきだろうか。石田 あらかじめ「トイレガイドライン」を参考に、災害時の水洗トイレの使用ルールを策定しておくことが重要です。水道が使えない場合、または、水が確保できる場合であっても、下水処理場等の被害状況が確認されるまで、いったん水洗トイレの使用を中止して、携帯トイレ(既設トイレにビニール袋をかぶせて使用して凝固剤で

### 被害状況確認と使用ルールづくりを

被災地でのトイレ利用には、例えばどんなルールがあるべきだろうか。

石田 あらかじめ「トイレガイドライン」を参考に、災害時の水洗トイレの使用ルールを策定しておくことが重要です。水道が使えない場合、または、水が確保できる場合であっても、下水処理場等の被害状況が確認されるまで、いったん水洗トイレの使用を中止して、携帯トイレ(既設トイレにビニール袋をかぶせて使用して凝固剤で

図4. 緊急防災・減災事業債について

地方公共団体が引き続き喫緊の課題である防災・減災対策に取り組んでいけるよう、対象事業を拡充した上で、東日本大震災に係る復興・創生期間である平成32年度まで継続することとし、平成29年度は5,000億円を計上。

#### 1. 対象事業[地方単独事業(6)を除く]

- (1) 大規模災害時の防災・減災対策のために必要な施設の整備
  - 防災拠点施設(地域防災センター等)
  - 防災資機材等備蓄施設、拠点避難地
  - 非常用電源
  - 津波避難タワー、活動火山対策避難施設等
  - 避難路・避難階段
  - 指定緊急避難場所や指定避難所において防災機能を強化するための施設
  - 指定避難所における避難者の生活環境の改善のための施設(空調・Wi-Fi等)の整備
  - 緊急消防援助隊の救助活動等拠点施設
  - 緊急消防援助隊の機能強化を図るための車両資機材等
  - 消防団の機能強化を図るための施設・設備
  - 消防水機材
  - 初期消火資機材

- (2) 大規模災害に迅速に対応するための情報網の構築
- (3) 津波対策の観点から移転が必要と位置付けられた公共施設等の移設
- (4) 消防広域化事業等
- (5) 地域防災計画に定められた公共施設・公用施設の耐震化
- (6) 特定地域の振興や生活環境の整備を目的とした国庫補助金(※)の交付を受けて実施する(1)~(5)の事業

※防衛施設周辺の生活環境の整備に係る補助金、離島活性化交付金及び奄美群島振興交付金。

#### 2. 財政措置

- (1) 地方債の充当率 100%
- (2) 交付税措置 元利償還金について、その70%を基準財政需要額に算入

#### 3. 事業年度

平成29年度から平成32年度

※総務省消防庁「消防防災施設等の整備に係る主な財政措置(平成29年度)」をもとに作成。  
http://www.fdma.go.jp/

図5. 既設トイレを使用する時のポイント

- 水道が使えない場合、または、水が確保できる場合であっても、防災直後は下水処理場等の被害状況が確認されるまでは、水洗トイレの使用を禁止し、災害用トイレを使用すること。また、平時から災害時の水洗トイレの使用ルールを決め、住民に周知しておくことが重要である。
- 既設トイレが洋式便器の場合には、携帯トイレを使用する際に、便器内の水が浸透することがないように、便座にビニール袋をかぶせて固定し、その上に携帯トイレを付けて使用する。
- 既設トイレが和式便器の場合には、まず便器の上に板や段ボール等を置いて、便器を封鎖し、その上に簡易トイレを設置して使用する。

また、高齢者や障害者等にとっては、和式便器の使用は極度に困難であるので、既設トイレを洋式便器化していくことが望ましい。特に、避難所となる施設の新設や大改修の際には洋式便器の設置や、災害時の水使用の観点から、節水型に置き換えていくことを推進すべきである。

さらに、トイレと上下水道を一体的に捉え、平時から上下水道の地震対策に努めることも重要である。

出典:内閣府(防災担当)「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」(2016年4月)

固めるタイプのもの)などを使用して、水洗便器が使用できるかどうかを確かめる必要があります。

避難所の開設時には、これを実施しておいていただきたいと考えています。流れない状態のまま連続で使用してしまうと、便器自体の詰まりも起こして劣悪な環境となり、清掃や復旧作業がさらに大変な作業となってしまうので、排水可能なことが確認できれば、貯水槽やプールの水をバケツで流して使用することもできますが、手指衛生をはじめ衛生管理の徹底が必要で、一人ひとりがトイレをきれいに使い、1日1

回以上は清掃しておくことが重要です。

トイレが汚かったり和式だったために使えなかったりすると、水分を取るのを控えて健康に被害を及ぼす可能性もあります。安心してトイレが使えることは健康を守ることにつながります。

避難所のトイレの数についてはどうお考えでしょうか。

石田 私が昨年の九州北部豪雨災害の際の避難所に行ったときには、30~40人に一つの個室トイレがありました。この数を足りないという方もいますが、避難者の方から足りないという声は出ていま

せんでした。

勉強になったケースでは、17人が避難している東峰村の避難所を見たケースです。学校ではないのですが、個室トイレが全体では5室くらいあったのですが、男性の小便器は別にして、実際に使っているのは男女共用の多機能トイレ1室だけで、あとは使用禁止にされていました。なぜかと聞いたところ、「清掃をする負担を考えたから」ということでした。全部のトイレを使って全部を掃除するより、一つのトイレを使って、一つのトイレだけ清掃することを選択されたとのことでした。きれいに使うこと

## 図6. 災害時のトイレ(便器数)の確保目標

基本的には和式便器を除き、洋式便器での器具数の確保が求められています。

確認要件	ポイント	計算式	便器数*
①目標とするトイレの数	・50人に1基の便器が望ましい(発災初期)。 ・女性用・男性用の理想的割合は3:1。	最大想定 避難者数÷50	基
②既設トイレの洋式便器の数	避難者に開放可能な施設内トイレのうち、洋式便器の数を把握しておく。	—	基
③既設バリアフリートイレの数	障害者等が快適に使用できるトイレは、一般トイレとは別に確保する。	—	基
④不足するトイレの数	「①目標とする洋式便器数」から「②既設トイレの洋式便器数」を引いた数	上記、①—②	一般用: バリアフリー: 基 基

注) 災害時のトイレ(便器)の確保については、既設トイレの洋式便器を活用することで、数の確保が可能となる。レンタル等の仮設トイレが避難所に到着するまでには、道路状況等により日数がかかることも想定されるため、発災当初は、洋式便器や簡易便器さえあれば使用可能な便袋の備蓄が有効である。  
\*便器数は、地震・津波、大雨・高潮等による浸水、土砂災害など、想定される災害の種類によってそれぞれに算出する。

※内閣府「災害時のトイレの必要数計算シート」をもとに作成。

が大切ですが、それだけではきれいには保てない。やはり清掃をしないときれいにはならないのです。これは、その避難所で決められたルールです。

——衛生面での不安や、詰まらせて使えなくなるリスクを避けるために、一基の清掃を徹底して使うことを被災者の皆さんで考えたのです。最後に、避難所における学校トイレの確保と管理について伺います。

石田 学校であれば、ある程度のトイレの数は確保されているかもしれませんが。避難所として使うことを想定して、もし足りないということであれば、必要数を確保していただくか、仮設トイレを用意していただく手もあると思います。昨年の九州北部豪雨で朝倉市の避難所を回った際には、洋式トイレの数が少なく、足腰が不自由な方は、和式トイレに簡易トイレを付けて使用するケースも見受けられました。中には内開きのドアが簡易トイレに当たってしまい、入り難いところもありました。

学校トイレの確保と管理には、いろいろなやり方があると思います。ただ、なるべくならば、施設の既設トイレを洋式化していただくのが望ましいと思います。また、トイレガイドラインを参考に、平時から災害時の水洗トイレの使用のルールを決めておくことによいでしょう。被災地において自治体の職員の方から、「食事は1〜2食抜いても我慢できるが、どんな人でもトイレは我慢できない」という話を伺ったことがあります。

災害避難所トイレの確保と管理を平時から考えておくことは、自治体や学校にとって間違いなく重要といえます。

## 防災イベントレポート

# ぼうさいこくたい

## 避難所トイレの重要性を再認識

ぼうさいこくたい展示棟の入り口。防災産業展や世界防災フォーラムも同時開催された。

2017年11月、内閣府防災担当の主催により、仙台市の仙台国際センターで「ぼうさいこくたい」が開催されました。

「地域における連携を深める」「防災について学ぶ」「誰もが参加する防災」の三つのテーマに沿ったセッションとブース展示が行われ、2日間で1万人の来場者を数えました。

小此木内閣府特命担当大臣(防災)の開会宣言を皮切りに、防災に関する専門家が登壇し、数多くのセッションが行われました。また、ブースの展示やワークショップも開かれました。

セッション「災害時のトイレの確保・管理」では、学校のトイレ研究会事務局長もパネリストの一人として参加し、避難所におけるトイレ確保と衛生性についての議論が交わされました。

既設トイレの洋式化問題をはじめとして、携帯トイレや簡易トイレの備蓄の必要性、被災者の健康面のみならず、尊厳を守るためのトイレ対策が語られました。ノロウイルスなどの感染対策としては、手指消毒の重要性を確認。さらに災害時のトイレ管理における公助、共助、自助の三点による体制づく

## ぼうさいこくたい (防災推進国民大会2017) 「大規模災害に備える ～みんなの連携が力になる防災～」

- 期間: 2017年11月26日(日)～27日(月)
- 会場: 仙台国際センター(会議棟、展示棟)
- 主催: 防災推進国民大会2017実行委員会  
(内閣府(防災担当)、防災推進国民会議、防災推進協議会)  
<http://bosai-kokutai.jp/>

2018年度の「ぼうさいこくたい」は  
10月13日(土)～14日(日)  
東京ビッグサイト・そなエリアにて開催



ぼうさいこくたい2日間の成果として「仙台ぼうさいこくたい憲章」がまとめられ、総理官邸開催の第3回防災推進国民会議で報告されました。

その他、福祉避難サポーターの育成なども含め、参加者全員で避難所をマネジメントしていくことの必要性が強調された形となりました。



屋外の広場では消防車や自衛隊の災害派遣車両の展示なども見られた。

(左前から)コーディネーターの川上一郎(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官)、パネリストの菅原えりさ(東京医療保健大学大学院医療保健学研究所教授)、河村浩(学校のトイレ研究会事務局長)、宇田川真之(人と防災未来センター研究主幹)、石川永子(横浜市立大学国際総合科学部准教授) ※敬称略



大便器を洋式化しつつブース数をキープするため、扉をスライド式に。

学校トイレの  
改修事例

01

熊本県球磨郡あさぎり町

# あさぎり町立あさぎり中学校

## 防災計画とマニュアルの作成で 地域と学校がリンクする防災を

### 2年で町内すべての 学校トイレを改修

あさぎり町は、熊本地震の被害の多かった地域より、南方に位置します。

あさぎり中学校は、2012年に町内の五つの中学校が統合し、これまで上中学校のあった地に開校しました。広々とした敷地には、統合時に増築した新校舎、旧上中の校舎、図書室や多目的ホールなどがある特別教室棟の3棟が建っています。

旧上中の校舎と特別教室棟は、1981年建設以来、大規模な改修は行われておらず、トイレは老朽化が進み、「壊れて使用できない」ブースがありました。洋式便器もない上、「水が出ない」などの使えないトイレが多いことから混雑を招き、学校生活に支障が出るほどに。町内にある五つの小学校のトイレも同様のひどい状況でした。

2013年に「あさぎり町立小・中学校改修基本計画」を策定し、当初は2021年～25年の計画

で、町内のあさぎり中学校と全小学校の改修を進める予定でした。しかし、トイレの悲惨な状況を鑑みて、議会や町長、関係部局と調整し、改修を早めることに。

「2014年度に愛甲一典町長が学校トイレを視察し、ひどい現状を確認されました。改修時期について再検討した結果、17～18年度で町内すべての学校のトイレを改修することに決まりました」（教育委員会 坂本幸治さん）

### スライド式ドア採用で ブース数をキープ

トイレの改修に当たって、町の教育委員会では、児童や生徒にトイレに関するアンケートを実施。その結果を踏まえて議論し、町内



ブラッシュアップされたあさぎり町の「地域防災計画書」。



使いやすい配慮された多機能トイレ。



特別教室棟の1階は教室移動で利用しやすい場所にある。女子トイレと男子トイレと並列して、多機能トイレを設置。



照明はLEDライト自動点灯。きれいで明るいトイレで掃除をする生徒たちの顔には笑顔があふれて。



多機能トイレには要配慮者だけでなく誰でも使えるように、コメントも追加。

「多機能トイレには要配慮者だけでなく誰でも使えるように、コメントも追加。」  
 「どなたでも自由にお使いください」  
 「多機能トイレには要配慮者だけでなく誰でも使えるように、コメントも追加。」

「和式便器のあったブースをそのまま洋式にして内開きにする、ドアが便器にぶつかってしまう。そこでスライド式のドアを採用して、開閉スペースを少なくすることで、個数を維持しました」(設計工房/ムラカミ 村上繁喜さん)

「和式便器のあったブースをそのまま洋式にして内開きにする、ドアが便器にぶつかってしまう。そこでスライド式のドアを採用して、開閉スペースを少なくすることで、個数を維持しました」(設計工房/ムラカミ 村上繁喜さん)

「和式便器のあったブースをそのまま洋式にして内開きにする、ドアが便器にぶつかってしまう。そこでスライド式のドアを採用して、開閉スペースを少なくすることで、個数を維持しました」(設計工房/ムラカミ 村上繁喜さん)

「和式を残したほうがいい、という意見もあったのですが、もし、自分の家のトイレを改修するとなったら、どうするかという、やはり洋式を選択するだろうということで、便器は全校統一して洋式にすることに決めました」(教育委員会 深水昌彦さん)

「まだ具体的には決まっていますが、今後は町と学校が一緒になって防災計画をすり合わせていこうとしているところです」(深水さん)

「まだ具体的には決まっていますが、今後は町と学校が一緒になって防災計画をすり合わせていこうとしているところです」(深水さん)

「まだ具体的には決まっていますが、今後は町と学校が一緒になって防災計画をすり合わせていこうとしているところです」(深水さん)

「まだ具体的には決まっていますが、今後は町と学校が一緒になって防災計画をすり合わせていこうとしているところです」(深水さん)

「まだ具体的には決まっていますが、今後は町と学校が一緒になって防災計画をすり合わせていこうとしているところです」(深水さん)

### 校舎に多機能トイレ設置で避難所機能を強化

は、酒井勇一教頭です。

あさぎり町の学校施設は災害時の避難所に指定されています。

「指定されているのは、体育館ですが、熊本地震では校舎も避難所に使われました。そこで、特別教室棟内に多機能トイレを1室新規に設置して、生徒利用だけでなく、避難所としての機能も図りました」(坂本さん)

また、これまでは、町は総務課主体で防災訓練を行い、学校は独自に防災訓練を行っていましたが、熊本地震を機に、町として「あさぎり町地域防災計画書」を見直しました。学校教育における防災知識の普及なども項目に入れました。さらに地震発生時の学校防災体制確立のため、あさぎり町立小中学校「防災マニュアル」も作成中です。

「まだ具体的には決まっていますが、今後は町と学校が一緒になって防災計画をすり合わせていこうとしているところです」(深水さん)





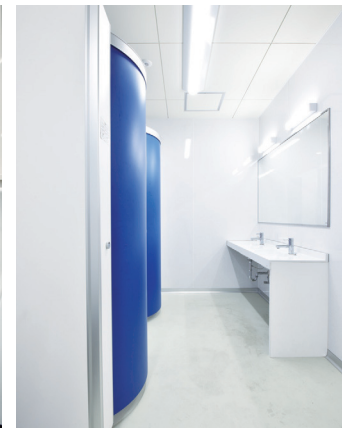
混雑に対応するため、便器は連続洗浄が可能なフラッシュタンク式を採用。女子トイレには温水洗浄便座、さらに節水に配慮して擬音装置を設置。



1階の窓は上層階から見えてしまうため、採光と目隠しを兼ね備えたルーバーを設置。



小便器は清掃しやすい壁掛け式。



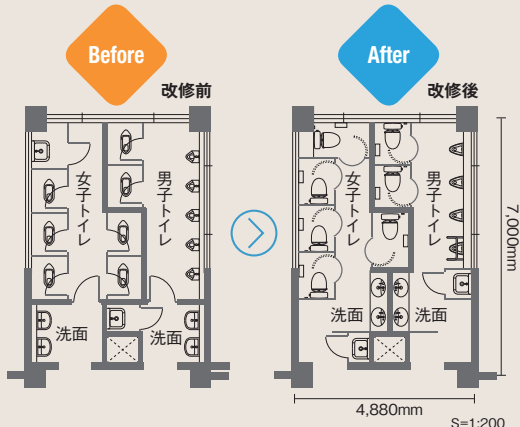
工期とスペースを考慮して、タイル壁の上に貼れる鏡面メラミン化粧板を採用し、室内を明るく。

## DATA

- 名称：熊本県球磨郡あさぎり町立あさぎり中学校
- 所在地：熊本県球磨郡あさぎり町上北2144
- 生徒数：454名(2018年4月)
- 施主：あさぎり町
- 設計：設計工房 / ムラカミ
- 施工：葦田環境開発、新堀工務店
- 竣工年月：2017年9月(改修)



普通教室棟2Fトイレ



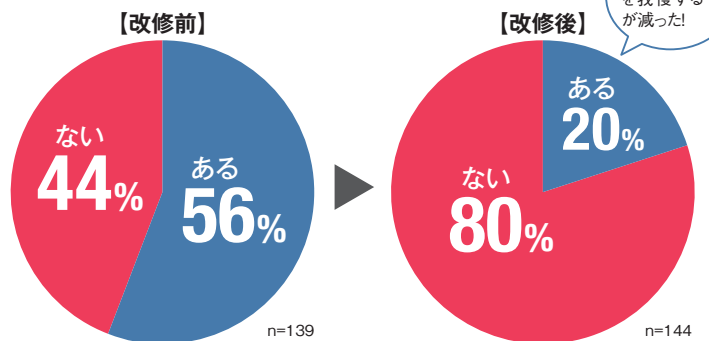
ブースにスライドドアを採用するなど、省スペース化を図り、既存のトイレスペースのまま便器を洋式化しても個数を確保。

## 改修前



## 質問 学校でトイレに行くのを我慢してしまうことがありますか？

【あさぎり中学校校内アンケート結果】



出典:あさぎり町教育委員会

改修後のアンケートではトイレを我慢する子が明らかに減っていることがわかる。「授業中に手を挙げて、「トイレに行ってもいいですか」という子が増えた。行きやすいトイレになったのだと思います」(同校中村育雄教務主任)

# 小中学校をさらに下回る 県立高校トイレの洋式化率36%

高校トイレの現状

結果は35.8%。都道府県立高校トイレの洋式化率に関する調査結果が発表されました。高校トイレが置かれた実態に注目し、改善への具体的な行動を起こしていきましょう。

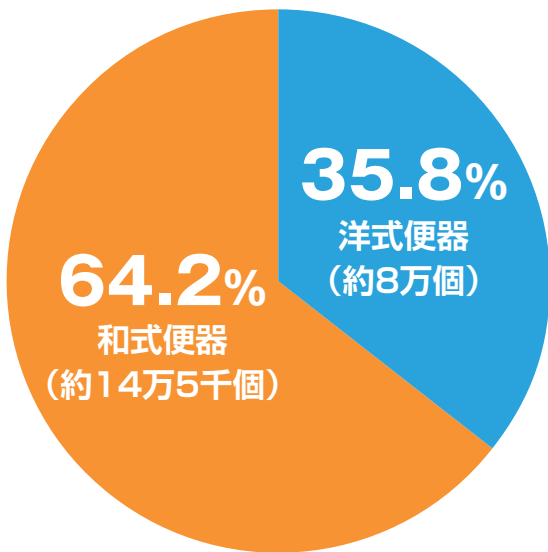
洋式化率は35・8%  
自治体間格差も激しい

国会議員や地方議員らによる「学校トイレの洋式化を推進する議員ネットワーク」の調査により、2017年11月、都道府県立高校トイレの洋式化率が全国平均で35・8%にとどまることが発表されました(10ページ左参照)。

宮城県を除く全国約3200校にある約22万5千の便器数のうち、洋式は約8万基、和式は約14万5千基。しかも、都道府県別の洋式化率は、最も高い県で62・4%、最も低い県で18・6%と最大43・8ポイント離れ、自治体間の格差が目立つ形となりました。

この数字は、文部科学省が

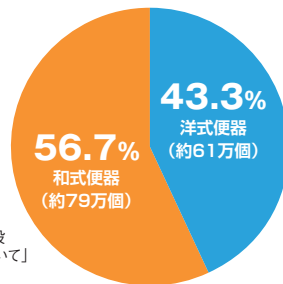
都道府県立高校トイレの洋式化率  
全便器数: 約22万5千個



\*学校トイレの洋式化を推進する議員ネットワーク調査 (2017年4月1日)より  
※宮城県を除く

全国公立小中学校施設の  
便器割合

全便器数: 約140万個



\*文部科学省「公立小中学校施設のトイレの状況調査の結果について」 (2016年11月10日)より

2016年11月に発表した公立小中学校のトイレ実態調査で明らかにした洋式化率43・3%を大きく下回ります。

自治体が公立小中学校のトイレを改修する際、国からは全費用の3分の1の補助金が見込めるものの、高校に関しては対象外。洋式化遅れの背景には、こうした予算不足の事情もあるようです。

学校のトイレ研究会は、すでに全国高校トイレのアンケート調査

を実施し、研究誌14号(2011年)で発表しています。生徒のために改善が必要な場所として真っ先に挙げられたのは「トイレ」であり、トイレ改善を望む声は他を圧倒していました。さらに、トイレでの具体的な困りごととしては、「トイレが臭い、汚い」がトップで、「和式便器が多い」がこれに次ぐ結果でした(11ページ右上参照)。

高校の洋式化は決して最近の話ではなく、現場では随分前からあった問題だったのです。

事実、高校生による座談会でも、洋式便器の数が少なく困っているという声が多くを占め、中には学校のトイレには行かないという生徒までいます(11ページ右下参照)。

## 避難所となる学校体育館 災害時の和式は使えない

さらに深刻なのが、災害時のトイレ問題です。

文部科学省が2017年8月に発表した「避難所となる公立学校施設の防災機能に関する調査の結果について」では、全国公立高校3586校のうち、避難所として指定されている高校が7・1%。また、要配慮者の利用が想

定される学校2199校のうち、屋内運動場に多目的トイレが設置されているのは偶然にも数字の一致ですが、全国平均でわずかに35・8%でした。災害時、体育館は近隣住民の避難所となることから、この現実には災害対策の観点からも厳しいものがあると言わざるを得ないでしょう。

災害時の学校には、高齢者や障がいをお持ちの方など、あらゆる人が避難してきます。段差解消や手すり設置などユニバーサルデザインを求める以前に、最も致命的なのが和式便器の存在です。

内閣府は「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」でも、和式便器を除外して洋式便器だけで必要器具数を確保するよう指導しています。和式便器を残すことは、多くの使えない人を作ってしまうことを認識しておかなくてはなりません。

## 和式便器を一つ残すことが 感染リスクを残すことに

多くの場合、湿式清掃の床からは膨大な菌が検出され、それに比べると便座から検出される菌は皆無に近いといえます。

和式便器のまわりからは特に

多くの大腸菌が検出され、これが床伝いに教室まで運ばれていると考えられます。スリッパを履き替えばよいというのは誤解で、生徒がそれを触る可能性があれば、さらに感染リスクは高まります。和式便器を1個残すことは、より感染リスクを残すことにはなりません。洋式化と同時に床の乾式化を図ることは必須だといえます(11ページ左参照)。

オフィスや商業施設、ましてや生徒のいる家庭で和式を残すところはほぼ皆無といつていい現代において、器具も日本工業規格(JIS)から除外された中、学校だけが和式を残しているのです。和式支持の声があつて和式を残したものの、改修できれいになつても結局和式は使われていないとよく耳にします。後に自治体の災害対策上から全洋式化が決まり、無駄な再工事をしたというような現場もありました。

## 全国自治体で始まった 県立高校トイレの洋式化

都道府県立高校トイレの洋式化率の数字を受けて、多くの自治体では具体的な動きも始まっています。

千葉県では、全国で下から4番目の24%という県内高校の洋式化率に関する議員の質問があり、県教育委員会は「対応を図つてきたが、いまだに少ない状況と認識している。整備に当たっては学校と相談しながら洋式化を図つていく」と回答しています。

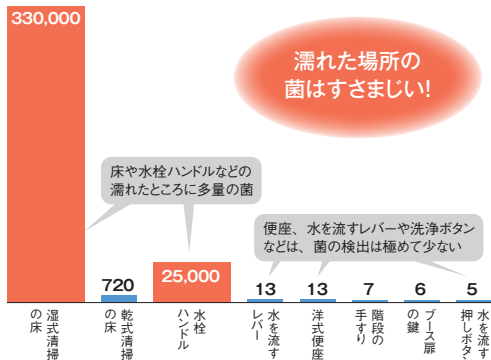
鳥取県では「県立学校体育館多目的トイレ整備事業費」として5139万円が計上されました。熊本地震の教訓を踏まえ、避難所指定の15校のうち、体育館に洋式、多目的トイレがない学校3校に対する改修が現在進められています。

埼玉県では、県立高校139校のうち、洋式化率が半分以上の高校は29校。洋式化と温水洗浄便座化100%達成という議員の提案に対し、教育長は課題を認め、まずは普通教室棟の洋式化100%を目標に整備を進めると回答しています。

神奈川県は、「県立学校施設再整備計画」により、22億2800万円をかけ、約400棟の洋式化整備を2023年度をめどに完了するとしています。その他、「まなびや基金」を活用し、県立学校トイレの洋式化など教育環境向上のための整備を進めています。

## 学校トイレにおける菌数測定結果(CFU/cm<sup>3</sup>)

〔2013年度第40回日本防菌防霉学会年次大会報告〕  
〔2013年度空調和・衛生工学会大会報告〕



測定条件:測定箇所4cm<sup>2</sup>を滅菌綿棒でふき取り、菌を回収した。回収した菌は標準寒天培地ににて36℃で48時間培養後に計測した。  
\*2012年7月 某公立学校での調査(TOTO総合研究所調べ)

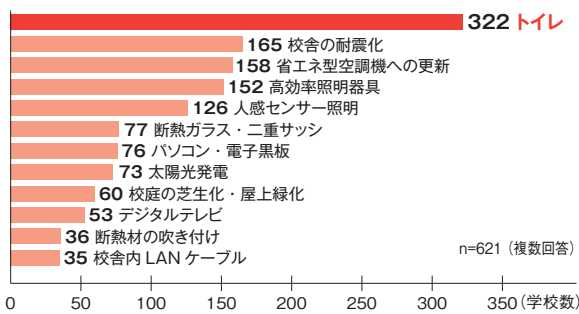
## トイレ内糞便由来菌汚染度(大腸菌数CFU/cm<sup>3</sup>)

〔2013年度第40回日本防菌防霉学会年次大会報告〕  
〔2013年度空調和・衛生工学会大会報告〕



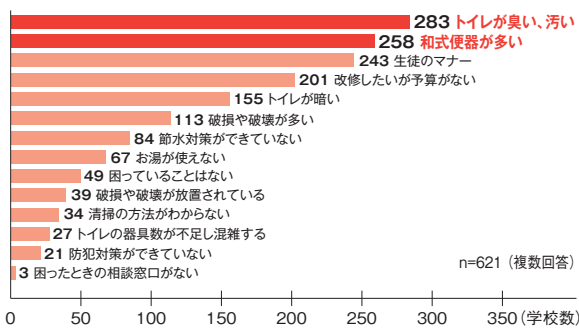
測定条件:調査場所/某公立学校トイレ 湿式清掃と乾式清掃エリア サンプル箇所/和式便器まわりの湿式床、和式便器ブース前の湿式床、洋式便器下の乾式床、湿式床中央、湿式床トイレ入口  
試験方法/サンプル箇所4cm<sup>2</sup>を滅菌綿棒でふき取り回収した。回収した菌は大腸菌検出酵素基質培地ににて36℃で48時間培養後に計測した。  
\*2012年7月 某公立学校での調査(TOTO総合研究所調べ)

## Q. 学校で生徒のために改善が必要な場所はどこですか?



\*〔2010年度全国高校トイレ実態調査〕学校のトイレ研究会研究誌14号(2011年)より

## Q. トイレで困っていることは何ですか?



\*〔2010年度全国高校トイレ実態調査〕学校のトイレ研究会研究誌14号(2011年)より

## 高校生が求めるトイレとは?

- ♥「洋式が一つしかなくて、いつも取り合いです」
- ♠「僕は学校のトイレは汚いからできない。どうしてもときは昼休みにコンビニに行きます」
- ♥「トイレがきれいだと、学校がちょっと楽しくなるかもしれません」
- ♠「僕は洋式が空いたら絶対、洋式だ〜(男子全員賛同)」

\*〔高校生生座談会2010 高校生が求めるトイレ空間〕学校のトイレ研究会研究誌14号(2011年)より

兵庫県は2017年度当初予算で約10億円をかけ、12校のトイレ洋式化を進めています。さらに災害時の避難所となることも想定し、2026年度末までに県立

高校全体の9割の洋式化方針を発表しました。大阪府では、2019年度末を目標にトイレが未改修の府立高校107校について、一気に洋式

化を進めています。校内1系統のトイレを短期間で効率良く優先的に改修することにより、各階1カ所は必ず完全洋式化を実現しようとしています。



男子トイレの小便器は、センサー式で手を触れずに流せる、掃除のしやすい壁掛け式に。

取材に応じる大阪府教育庁施設財務課の方々。右から、尾崎千賀さん、山口敦子さん、小田川泰彦さん、木田聖捷さん。



学校トイレの  
改修事例

02

大阪府堺市

# 大阪府立泉北高等学校

3年間で107校のトイレを改修  
府立高校の1系統を完全洋式化へ

性的マイノリテイ  
対応も見据え  
多機能トイレも設置

大阪府は今、高校トイレの洋式化に本格的に取り組んでいます。

府内の全136の府立高校は、築40年以上が半数以上。古いトイレは基本、和式便器で各1基洋式がある程度でした。

「2011年から4校ずつトイレ改修を進めていましたが、全部終わるまでに25年かかる。和式便器は時代の流れにそぐわないし、保護者からの署名や議会の声もあり、スピードアップすることになりました」(大阪府教育庁 施設財務課 山口敦子さん)

具体的には、トイレ未改修だった107校について、2019年度末までの3年間で、各高校の校舎の1系統を洋式化する計画です。

費用は1校当たり約5,000万円。限られた予算と工期ですが、部分改修ではなく、全面改修を基本としています。そのために仕様や図面は統一し、パッケージ化

しました。

「平面図のプランを2〜3案学校側に見せて選んでもらい、配置や便器の数などについて意見を伺い、微調整していきました」

工期は、「夏に設計→冬工事」と「冬に設計→夏工事」の2パターンで進めています。

「工期の確保は苦労しました。特に夏休みのような長期休みのない冬工事のときは、学校側と調整しながら、音の出る工事は土日や放課後の時間を駆使して行いました」(小田川泰彦さん)

今回の改修では、スペースが許せば、性的マイノリテイ対応も見据え、男女共用の多機能トイレも設置しました。改修後の泉北高等学校の佐保田真一教頭は言います。

「フロアごとに男女が分かれているので、各フロアに男女共用の多機能トイレがあればよいと考えていた。また、性的マイノリテイの生徒は、確率的にクラスに数人いるといわれており、配慮も必要であると考えました。快適できれいなトイレを作ってもらい、生徒も喜んでいきます」



今回の改修計画では学校内に多機能トイレがなく、既存トイレスペース内に設計上設置できない場合を除いて、改修工事の際に一つは多機能トイレを設置する方針。



多機能トイレのサインは性的マイノリティにも配慮し、学校側で、男女マークと「どなたでもご自由にお使いください」と一文を添えた。

要望が多いため、ワンフロアの男女トイレ各1カ所に温水洗浄便座を設置。

## 改修前



①改修が済んでいない別棟の男子トイレ。きれいに手入れされているが、かなりにおいが残る。②未改修の女子トイレ内にただ1基ある洋式便器。車いす使用者でも使えるようには配慮されているが、トイレの奥にあるため不便。③改修未着手の女子トイレ。タイプの異なる和式便器が並び、壊れても和式便器が設置し直されていたことがうかがえる。



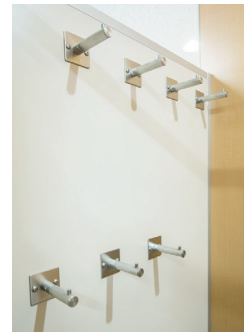
これまで各トイレ内奥に車いす使用者用トイレがあったが、廊下に面して多機能トイレ(男女共用)を作ったことで、誰もが使いやすくなった。



感染症対策と蛇口の閉め忘れ防止の観点から、非接触の自動水栓を採用。



3階女子トイレ。各ブースの上にLED照明をつけて、空間を明るく。



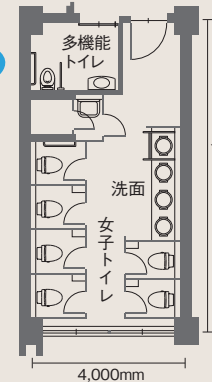
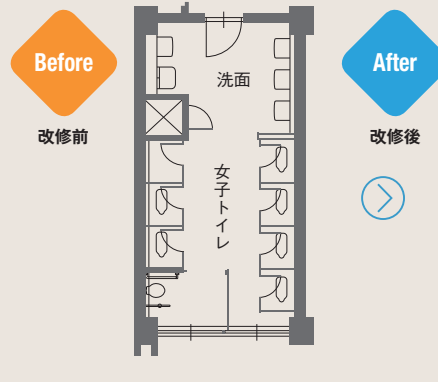
掃除用具入れには、モップ類がかけられるようしっかりと頑丈なフックをつけて。

## DATA

- 名称：大阪府立泉北高等学校
- 所在地：大阪府堺市南区若松台3丁2番2号
- 生徒数：839名(2018年4月)
- 施主：大阪府
- 設計：協和設計事務所
- 施工：サイモック
- 竣工年月：2017年2月(改修)



## B棟3F女子トイレ



入り口付近にあった洗面台を中央に配置し、多機能トイレのスペースを確保。

S=1:200

# 今、学校に求められる水まわりとは

今回は、いくつものアンケート結果の中から、多機能トイレとシャワー設備、さらに性的マイノリティの児童生徒に配慮したトイレ整備の状況をもとに、学校トイレの実情をひもといていくことにしましょう。

## 多機能トイレとシャワー設備の状況

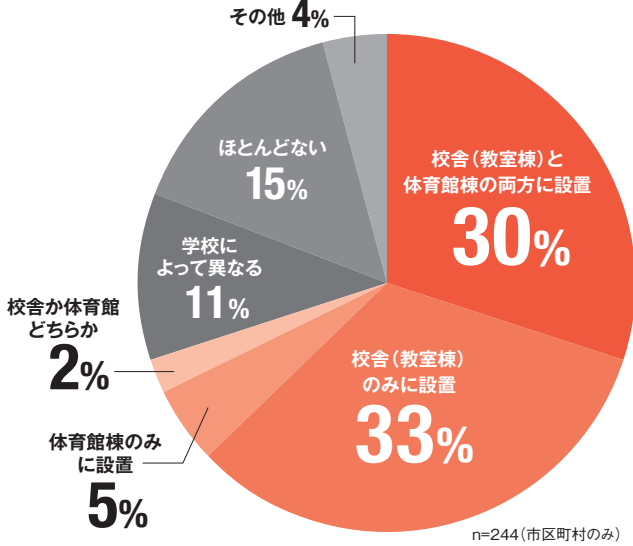
学校のトイレ研究会は、2017年9月～10月にかけて「2017年度全国自治体アンケート調査」を実施し、調査結果をまとめました。

学校のトイレ研究会は、2017年9月～10月にかけて「2017年度全国自治体アンケート調査」を実施し、調査結果をまとめました。

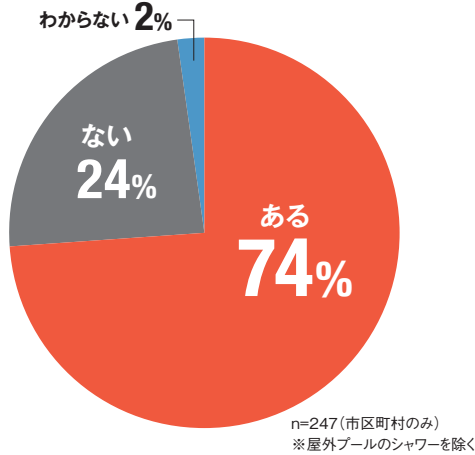
学校の施設における多機能トイレやシャワー設備の設置状況、さらには、性的マイノリティの児童生徒に配慮したトイレ整備に対する各自治体の状況がわかってきました。

Q1の結果の通り、多機能トイレ(車いす使用者用トイレ)の設置については市区町村に聞いたところ、最も多かった回答が「校舎教室棟」のみに設置で33%、次いで「校舎(教室棟)と体育館棟の両方に設置」が30%。今回は自治体への調査で個々の学校ごとに違いはあるものの、最低でも7割の自治体において、学校の教室棟と体育館棟のどちらか少なくとも1カ所には設置されていることがわかりました。

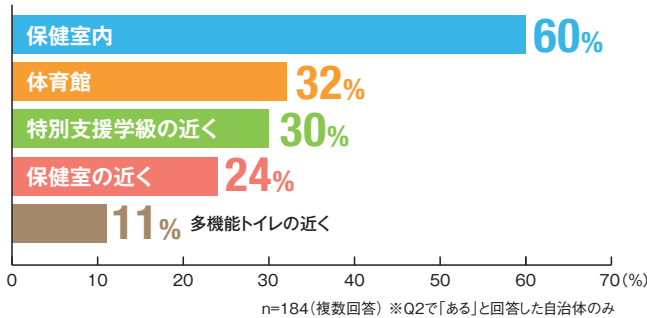
### Q1. 多機能トイレ(車いす使用者用トイレ)を学校のどこに設置していますか?



### Q2. シャワー設備のある学校はありますか?



### Q3. シャワー設備はどこに設置されていますか?



かりました。

Q2では、シャワー設備(屋外プールのシャワーを除く)のある学校の有無について市区町村に聞いたところ、74%が「ある」との回答で、「ない」の24%を大きく上回りました。続くQ3のシャワー設備の設置場所については、複数回答ながら「保健室内」が60%と圧倒的に多く、体育館(32%)や特別支援学級の近く(30%)がこれに続きました。

## 文科科学省が続けて公表

学校トイレに関する調査結果とバリアフリー化の取組事例集

文部科学省は、2017年8月に「避難所となる公立学校施設の防災機能に関する調査の結果について」(以下「学校防災調査結果」を、続いて2018年4月に「近年の災害から学ぶ避難所となる学校施設について」バリアフリー化の取組事例集)を、以下バリアフリー事例集を公表しました。

学校防災調査結果では、2017年4月の調査時点において、避難所指定の学校数や学校の防災機能の保有状況の他、「要配慮者の利用が想定される屋内運動場や校舎におけるスロープ等による段差解消・多目的トイレの整備状況」が公表されています。

要配慮者の利用が想定される学校における多目的トイレの設置割合は、左表のようになっています。避難所となりやすい屋内運動場・体育館への多目的トイレの設置は、校舎よりも遅れていることがわかります。

### ●要配慮者の利用が想定される屋内運動場や校舎におけるスロープ等による段差解消・多目的トイレの整備状況

	小中学校	高等学校
屋内運動場(体育館)	33.5%	35.8%
校舎	59.7%	77.5%

出典:「避難所となる公立学校施設の防災機能に関する調査の結果について」より一部を抜粋  
http://www.mext.go.jp/a\_menu/shisetu/bousai/1394437.html

### 性的マイノリティの児童・生徒への対応状況

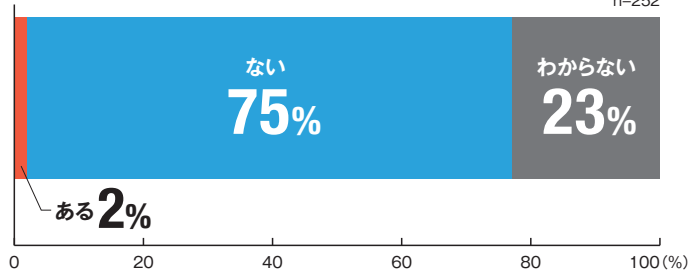
Q4の「性的マイノリティ（LGBTなどの）児童・生徒に関して、学校や保護者から相談を受けたことがあるか」という質問では、「ある」が2%という結果でした。中には、「LGBTの児童・生徒の入学に合わせてだれでもトイレを設置してほしい」という相談もありました。しかし、同時に、「わからない」や「ない」とする中にも、性的マイノリティの児童・生徒が存在する可能性を否定する

ことはできないでしょう。「性的マイノリティ（LGBTなどの）児童・生徒への対応も視野に入れてトイレ（多機能トイレ含む）の整備を行ったことがあるか」の質問では、有効回答250件のうち、「ある」が7件、「LGBT配慮がメインの目的ではなく、多機能トイレや個室トイレの設置」が4件、合わせて11件という結果でした。性的マイノリティの児童・生徒にも配慮したトイレはまだ少ないようです。

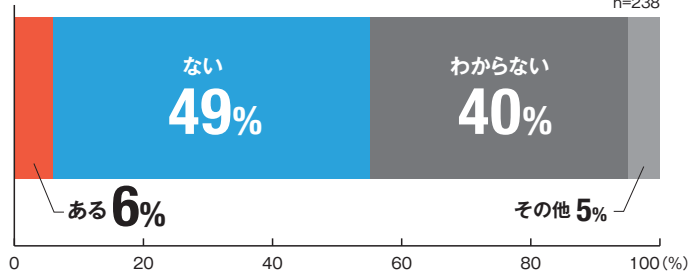
Q5のように、今後の整備予定については「ある」が6%、「ない」が49%、「わからない」が40%。中には「学校として相談」と、今後についてはまだわからないとする回答が多くありました。「整備を行ったことがある」または「予定がある」と回答した自治体の内容は「多機能トイレの設置や増設」「男子トイレの個室増設」などの他に、「小便器の並び方」に角度をつけ、見えにくくすることといった声も集まりました。

Q6のトイレ整備で性的マイノリティ対応も視野に入れる必要性に関する質問では、「必要」が13%、「どちらかと言えば必要」が

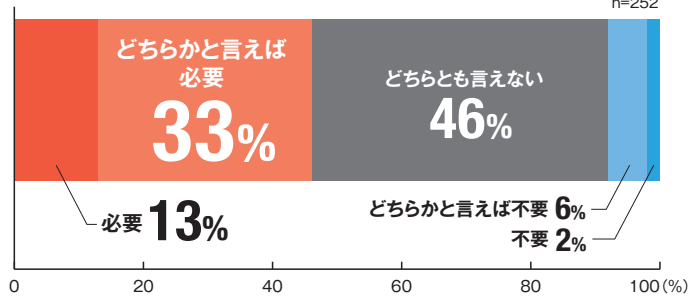
Q4. 性的マイノリティ(LGBTなどの)児童・生徒に関して、トイレや更衣室などについて、学校や保護者から相談を受けたことがありますか？



Q5. 性的マイノリティ(LGBTなどの)児童・生徒への対応も視野に入れて、トイレ(多機能トイレ含む)の整備予定がありますか？



Q6. 今後のトイレ整備について、性的マイノリティ(LGBTなどの)児童・生徒への対応も視野に入れる必要性がありますか？



33%と、二つの合計が「どちらとも言えない」の46%と同数となりました。性的マイノリティや障がい者だけでなく、学校では「のぞかれそうで安心して用が足せない」「排せつに時間がかかる」など、さまざまな理由で、安心して使用できるトイレを希望する児童・生徒がいます。そして、そうした児童・生徒たちは自ら声を上げることすらできないケースが多いでしょう。もちろん、スペースと予算は限られていますが、学校のトイレはそのまま30年以上にわたり、世代を超えて使い続けることになりま

す。災害時は地域住民の避難所として使用される可能性が高いこと、多様性への配慮が当然と言える時代になっていくことなどを踏まえて、今後のトイレ改修を計画し、実行していくことが求められています。

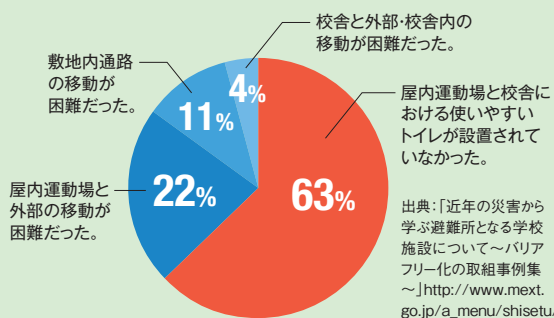
#### 【調査概要】

#### 2017年度全国自治体アンケート調査

調査対象：全国1,787自治体  
 調査時期：2017年9月～10月  
 調査方法：郵送によるアンケート  
 回答数：256（回答率14.3%）  
 Q1～Q3は市区町村のみ、Q4～Q6は都道府県+市区町村の回答

#### ●主な困った声

(バリアフリーに関し、避難所となった学校施設で聞かれた避難者の声)



出典：「近年の災害から学ぶ避難所となる学校施設について～バリアフリー化の取組事例集～」[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/shupan/1403195.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shupan/1403195.htm)



表紙

屋内運動場と校舎における使いやすいトイレの設置事例

バリアフリー事例集では、熊本地震、鳥取県中部地震、九州北部豪雨など、近年の大規模災害で被災した自治体へのアンケートや具体的な事例が紹介されています。学校施設のバリアフリー化の観点からも、避難所となった学校施設での避難者の声は貴重です。バリアフリー整備に向けた支援制度も紹介されています。

乾式の床になり、掃除はほうきで掃いてから、一度水にぬらして絞ったスポンジモップを使っている。



学校トイレの  
改修事例

03

石川県白山市

はくさん ほくしん  
白山市立北辰中学校

学校側の要望にとことん耳を傾け  
みんなが使いやすいトイレを実現

待ち望んだ改修で  
すべてトイレ洋式化

白山市は、2005年2月に1市2町5村が合併し、誕生しました。石川県の中でも最大の面積となり、学校数も小学校19校、中学校9校と増えました。

古い校舎も多くあったことから、「子どもたちのために小中学校の施設に優先的に予算を使って教育環境を整えよう」という気運が高まり、特に耐震補強の工事の済んでいない学校から、順次改修を進めてきました。

校区内の小学校は改修や建て替えが進む中、1984年に建てられた北辰中学校は耐震性が担保されており、30年以上大きな改修がありませんでした。そのため、トイレも当時のままでした。洋式便器は、各フロアに男子用、女子用が各一つのみで、他は和式。「本校がある地域は、新しい住宅地で、ほとんどの家庭の便器は洋式。生徒たちにとって、和式のトイレはかなり使いづらかったと思います」(久司由利子校長)

加えて、床は湿式のタイル。いくら掃除をしてもにおいが取れない状態で、行く気にならないトイレでした。そのため、生徒からも職員からも、洋式化を望む声が多く上がっていました。

改修の順番が来て、2016年末の国の補正予算で補助金が内定し、ようやくトイレを含めた大規模改修に着手できました。トイレの改修については、床を湿式から乾式にし、壁は明るい色に。和式便器をすべて洋式にする方針が進めました。

「議論を進める中で、和式も残そうという声も上がりました。和式になじんだ世代の大人は、和式があったほうがいいという思い込みがあるのです」(同市教育委員会 伊藤智さん)

しかし、以前、他の中学校の改修で、「和式を使う人がいるかもしれないから、あったほうがいい」という声があり、和式を1カ所残したケースがありました。ところが結果として誰も使わないという事態になってしまったそうです。「学校側も全洋式化を望んでい





白山市の小中学校の改修では標準で温水洗浄便座を採用。生徒たちが乗ることのないようにフタのないタイプを選択した。



洗面器はカウンターに半埋め込みのため、深さもあり、ゆったり洗える。



ブースの間仕切りはいたずら防止のため天井まで立ち上げた。



各トイレに掃除の仕方を写真付きで細かく指示した張り紙を貼り、フロア掃除は「絶対に水を流さない」など重要ポイントを赤字で明記。



洗面器まわりは掃除のあと、必ずから拭きをして水気を取る。水気を残しておくと、そのまま乾き、汚れとなったり、菌の繁殖の原因に。



男子トイレ入り口。小学校のトイレはカラフルな色づかいが多いが、中学校らしくすっきりとしたデザイン。



清掃時、便座は霧吹きタイプの除菌剤をふきかけてティッシュで拭き取っている。



便器は詰まったときにメンテナンスがしやすいよう掃除口付き。操作は押すたびに発電し、その電力でリモコンが作動するタイプを採用。電気工事が不要に。



洗面コーナー。自動水栓タイプで非接触。



女子トイレ。ブースのドア上は、採光や換気の観点から、仕切りを設けずに。

今回、トイレの器具や工事に使う資材は、メンテナンス性や使い勝手の良さ、安全性の高さを重視しました。例えば、大便器は掃除のしやすい掃除口付きに、便座は生徒たちが家庭でも使い慣れている温水洗浄便座にしました。

「重視したのは施工性です。施工性の高い器具は、場合によっては、商品自体の価格は高いかもしれませんが、施工しやすいと、よりよい品質になり、またメンテナ

### 施工性を重視すると結果的に経済的になる

「生徒の教育環境を整えるには、先生方の職場環境も整える必要があると考えて、自分たちが使う立場になって、よりよいトイレを追求していききました」(教育委員会 伊藤さん)

「学校の要望をよく聞いていただきました。おかげで本当に使いやすいトイレになり、生徒も職員も本当に感謝しています」(久司校長)

「学校側の要望をよく聞いていただきました。おかげで本当に使いやすいトイレになり、生徒も職員も本当に感謝しています」(久司校長)

「重視したのは施工性です。施工性の高い器具は、場合によっては、商品自体の価格は高いかもしれませんが、施工しやすいと、よりよい品質になり、またメンテナ

### トイレ改修をきっかけに清掃指導を徹底

「スもしやすいため、維持費が抑えられる。結果的に予算面で優位になります」(荒瀬さん)

しかも、夏休み期間という限られた時間の中で、取り壊しから、工事完了検査まで終わらせるのは、施工業者にとってかなりの負担。設計者や施工業者の意見にも耳を傾けながら、施工性の高い器具や資材を選ぶことで、学校に迷惑をかけないように予定の工期内で工事を終えることができたそうです。

乾式清掃に変わるので、先に改修した近隣の学校に清掃方法を聞いて研究し、新しく掃除用具を備品として購入したそうです。教職員で清掃方法を指示した張り紙を作成。「最初が肝心」。

久司校長が何より喜んでるのは、トイレトペーパーの減りが以前よりかなり多いこと。

「どれだけ、前のトイレで、子どもたちがトイレに行きづらかったかがわかるんです」

行きやすくなった北辰中学校のトイレ。うれしそうに掃除をする生徒たちの姿が印象的でした。



職員用トイレ。教室への移動中に使用することも多いため、教科書や名簿などが置けるように書類立てを設置。



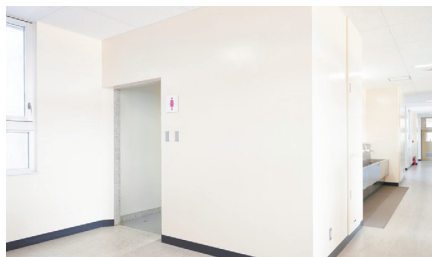
①女子職員用のトイレのブースの空きスペースを利用してフィッティングボードを設置。ストックの履き替えなどに利用されている。②職員用洗面台の自動水栓は、手洗いのあと、自動で除菌成分(次亜塩素酸)を含む水が流れるタイプを採用。排水口のされいが長持ち。③職員用洗面カウンターは2段にして、ハンカチや化粧小物が置けるように。



保健室にはシャワーと手洗いを設置。



2階女子トイレ。ブースはすべて内開きに。使っていないトイレがすぐわかる。床は、メンテナンスを重視し、防汚&ノンワックスタイプのグレー色を選定。壁は明るくなるようホワイト系に。



2階女子トイレの入り口。人通りのある廊下から一段奥まっているので、安心して出入りできる。



洗面器の清掃は軽くスポンジで洗い流して。



掃除用洗しは、バケツの出し入れがしやすいように浅めのマルチシンクに。水栓は、操作しやすいようレバー式にした。



左から北辰中学校の久司由利子校長、白山市教育委員会教育総務課の伊藤智さん、白山市建設部営繕課の荒瀬雅之さん。

## DATA

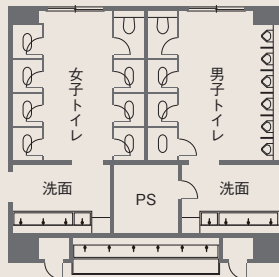
- 名称：石川県白山市立北辰中学校
- 所在地：石川県白山市日向町24番地2
- 生徒数：425名(2018年4月)
- 施工主：白山市
- 設計：北国コンサルタント
- 施工：荒木・ホクレイJV(給排水衛生設備)
- 竣工年月：2017年9月(改修)



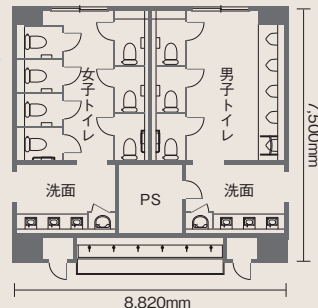
## 2Fトイレ



改修前



改修後



完全洋式化はもちろん、全個室に温水洗浄便座を備えた北辰中学校のトイレ。配管材料にまで施工性を重視した器具や資材の選定を行い、工期短縮を実現した。



3階女子トイレ。軽くカーブを描いた洗面カウンターが空間を和らげる。水栓は感染症対策として自動に。

学校トイレの  
改修事例

04

埼玉県三郷市

## 三郷市立幸房小学校

### アークスライド方式のドアで ゆとりある空間を実現

#### 子どもの人口増で 小学校を増築

三郷市には、東京と茨城をつなぐ電車つくばエクスプレスが通っています。2005年の開通以来、周辺の人口が徐々に増加。小さな子どもがいる世帯も増えているため、三郷市では、近隣小学校の既存校舎増築などにより対応を進めています。三郷市の中心的な場所にある幸房小学校では、古い校舎は2015年に大規模改修が行われ、2017年に4階建ての新校舎を増築。各フロアに男女トイレも新設しました。

#### 光のダクトを使って 前室を明るく演出

三郷市では、2014～15年の2年間で、市内の小中学校のトイレの洋式化を急ピッチで推進。各校内のトイレ洋式率を50%以上にしました。その際、トイレ改修の方針を「使い心地の向上（快適・清潔であること）」「安らぎのある空間づくり」「維持管理が容

易」避難所を想定したトイレ対策」の四つに決めました。幸房小学校の新築校舎のトイレづくりも、この方針で進められました。

快適性や清潔さを実現するために明るさに配慮しました。驚くのは前室。ガラスブロックから注ぐ自然光は、実はダクト内の鏡の反射を使い、屋上から太陽光を運ぶ技術を使ったものです。

安らぎのある空間を実現しているのは広々としたスペースです。ゆとりを確保するため、ブースにはアークスライド方式の扉を採用。洋式トイレの内開きはブースにある程度のスペースが必要ですが、アークスライド方式なら省スペース化が可能です。

「曲面になっているドアのデザイン性も選択理由の一つ。いろんな個性の子がいるのが学校。みんな同じじゃないんだよ」という意味も

込めて選  
びました」

（白石建築

設計事務所

山田さん）





4階女子トイレ。アークスライド方式のドア採用によってできたゆとり空間で、おしゃべりもはずむ。



3階女子トイレの個室内部。優しい色合いのモザイクタイルで落ち着きある空間に。



広い前室を設けベンチを設置。周りにはあえて無機質な白い壁に。「学校側で装飾するなど自由に使ってほしい」(山田さん)



屋上から続く光ダクトが、各階のトイレ前室に自然光を届けている。



3階男子トイレ。手洗いはコミュニケーションがしやすいようアイランド式に。小便器は自己発電タイプの自動洗浄で省エネにも配慮。

使用していた5年生男子児童は「開けやすくていい」と笑顔。

きれいを保つために  
最初に掃除方法を確立

床面の掃除方式は乾式に。

「新しいトイレをきれいなまま維持するため、教職員による清掃部が何度も打ち合わせをして、掃除の仕方を決めました。校舎が新しくなったタイミングできちんと掃除方法を決めておくことが大切です」(馬場重弘教頭 取材時)

避難所を想定したトイレ対策を実現しているのは、大便器の100%洋式化と使いやすい多機能トイレの設置です。

「三郷市の小中学校はすべて避難所に指定されており、災害時にはお年を召された方や体の不自由な方も使う。しゃがむ姿勢が必要な和式便器より洋式便器の方が使いやすい。さらに多機能トイレもあることで、さまざまな方に対応できる仕様にしてあります」(三郷市教育委員会 柳田さん)

出来上がって1年の新校舎のトイレは、子どもたちからも保護者からも大好評。掃除も徹底され、これからずっときれいなまま使われることでしょう。



1階トイレ入り口。空間が色分けされていて、わかりやすい。



1階女子トイレ内の洗面コーナー。照明と窓、鏡の効果もあり、北側とは思えない明るさ。



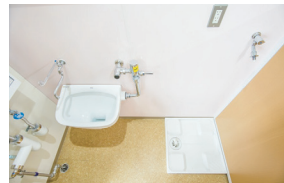
1階男子トイレ。壁のグリーン系モザイクタイルが空間に楽しさを加えている。



多機能トイレもある1階トイレ入り口。エレベーターにも近く、車いす使用者などの利用者が使いやすい。



オストメイト対応設備を完備した1階の多機能トイレ。誰でも使えるよう名前は「だれでもトイレ」に。



多機能トイレの対面にある保健室には洗濯パンと汚物流しとシャワーを設置。



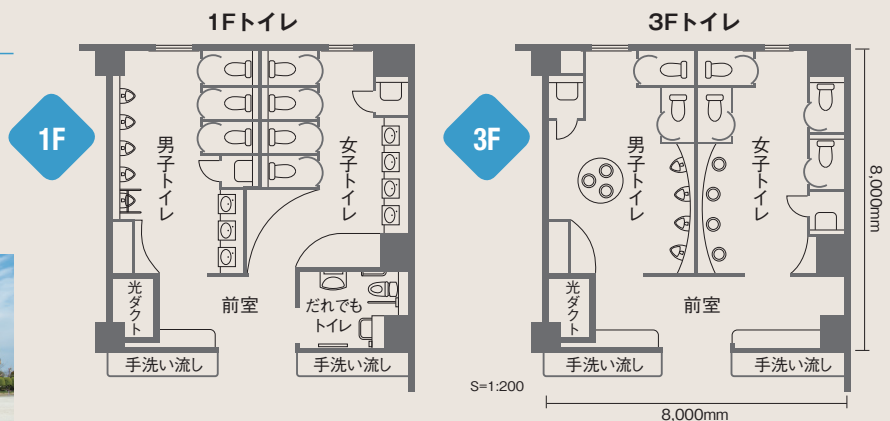
乳児を連れた保護者が使うことを想定し、多機能トイレにはベビシートを設置。



男子トイレのブースは、グリーン系のアークスライド方式のドアに。

## DATA

- 名称：埼玉県三郷市立幸房小学校
- 所在地：埼玉県三郷市茂田井88
- 児童数：655名(2018年4月)
- 施主：三郷市
- 設計：白石建築設計事務所
- 施工：不動開発(建築)、篠田設備(機械)、倉持電気(電気)
- 竣工年月：2017年2月(増築)



1階は女子トイレ前のスペースに多機能トイレのスペースを確保した。



西側3階の男子トイレ。洗面コーナーと小便器のスペースの仕切りは、縦に水色のラインを入れ、ワンポイントに。

学校トイレの  
改修事例

05

東京都立川市

## 立川市立立川第二中学校

「教育環境の学校間格差の解消」  
全小中学校トイレの早期洋式化へ

3年後に洋式化率  
約100%を目指す

「生徒たちが改修されたトイレを最初に見たときに、『わー、洋式トイレがある！』『明るい！』と大歓声を上げるのを聞いてうれしかった。こんなにきれいにしてもらって、ありがたい」と目を細めるのは、立川第二中学校の常盤隆校長（取材時）です。

立川市では2014年から5年の計画を立てて、小中学校の大規模改修や中規模改修を劣化などを考慮し、順番に行い、その際トイレ改修も行ってきました。しかし、改修の順番が回ってこない学校も少なくありませんでした。立川第二中学校のトイレも同様で、「とにかくにおいを何とかしてほしい」という生徒や保護者からの声が後を絶ちませんでした。

教育委員会事務局教育部教育総務課長の庄司康洋さんは、2年前に現職に就きましたが、市内の小中学校のPTA役員との最初の懇談会で真っ先に聞いた

たのも、トイレ改修に関する要望でした。「子どもたちが、学校のトイレを使うのを嫌がっている」「各トイレに一つだけの洋式便器のブースにばかり集中してしまう」。

庄司さんが、市内の全部の小中学校を見ると、深刻な状況。「トイレ問題を早く解決しなくてはならない」と強く感じたそうです。

議会からもトイレ改修について要望が上がったこともあり、今後5年間の間に大規模改修や中規模改修の予定がない学校について、2017年からの3年間で和式便器の洋式化、小便器の交換、床の乾式化の改修を行うことになりました。計画通りに進めば、3年後の洋式化率については、現在の56%から100%近くになる見込みです。

「教育環境の学校間格差の解消に向けて、早くすべての学校の洋式化を進めたいです」（庄司さん）  
立川第二中は、2017年に中規模改修の順番が回ってきました。



横壁一面がアクセントカラーになった女子トイレのブース。床材を立ち上げ、掃除がしやすくなっている。



西側3階の女子トイレ。さりげなくクリーム色のラインが入り、真っ白な空間の清潔感がより際立っている。



西側の3階女子トイレの入り口



西側の3階男子トイレの入り口

ピクトサインと取手の色は男女各々のトイレに採用したアクセントカラーに。



女子トイレの洗面コーナー。水栓の取付面が汚れにくい壁付タイプの自動水栓を採用。

## 明るく清潔感あふれる トイレが完成

改修に当たっては、基本的に市内の他の中学校との差が出ないようにすること、きれいで清潔感があり、便器の数は極端に減らさないことなどを方針としました。

実際に出来上がったトイレは、白を基調とした明るい空間になっています。男子トイレは、壁掛け式で自動洗浄の小便器を採用し、掃除がしやすく、清潔性を保てるようになっています。手洗いは非接触の自動水栓を採用。衛生面や、節水性にも配慮しています。

## 現場をしっかりと見て、 学校の課題を見極めたい

学校側からは、来客が多く、特別支援学級もあることから、独立した多機能トイレを作ってほしいという要望がありました。これまでは、男女の各トイレ内に車いすで入れるトイレがあったただけでした。

既存のトイレではスペースがなかったため、1階の倉庫を広い多機能トイレスペースに改修。体の不自由な生徒だけでなくケガを

した生徒も利用します。また十分なスペースを確保できたので、トイレの中で着替えができるよう、フイッティングボードを設置しました。

「中学生はケガをする子が本当に多いのですが、安心して使えるトイレがなかった。トイレは、特別な配慮が必要な子も含めて、誰もが安心して使える空間であることが大事。新しく作ってもらってみんな喜んでいきます」(常盤校長)

今回の改修事業を通して、庄司さんは、先生や生徒・児童の声を聴くことの重要性に気づかされたといいます。

「駅のトイレも公衆トイレもきれいになっているのに、学校だけが置き去りにされている現状がある。現場をしっかりと見て課題を見極める必要がある。その上で、市全体の課題として認識してもらえよう働きかけていく。教育委員会ができることはたくさんあります」



男子トイレのブース。ケガをした生徒が使いやすいように、一部には手すりをつけて。





倉庫を多機能トイレのスペースに。広い空間を生かし、介助が必要な生徒の衣類の着脱にも使える多目的シートを設置。



1階西側。多機能トイレの新設に合わせて廊下からの段差をスロープに。



1階東側男子トイレ入口。特別支援教室が近いので、介助が必要な場合も使いやすいようにドアは引き戸に。



女子職員用トイレ。温水洗 男子職員用トイレ。小便器の下に汚垂れ石 浄便座や手すりを設置。



北校舎東側1階特別支援教室近くの男子トイレ。①シャワーブースが設置されている。女子トイレも同様。②右側の扉が車いす使用者用トイレ。ドア枠や仕切り壁にも縦ラインのアクセント。③車いす使用者用トイレは介助がしやすいように広々とした空間を確保。

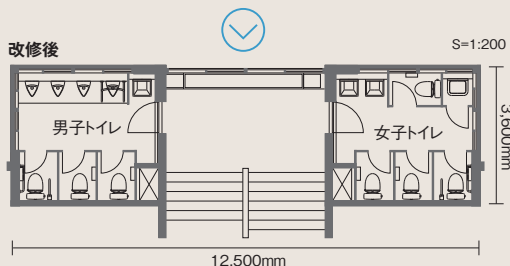
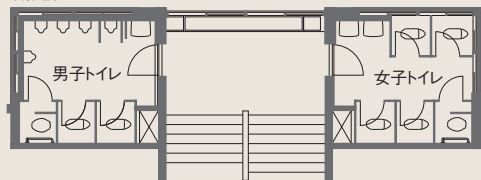


## DATA

- 名称：東京都立川市立立川第二中学校
- 所在地：東京都立川市曙町3-29-46
- 生徒数：552名(2018年4月)
- 施工主：立川市
- 設計：田中雅美建築設計事務所
- 施工：内山住宅(建築)、三和(機械設備)、澄川電設(電気設備)
- 竣工年月：2018年2月(改修)

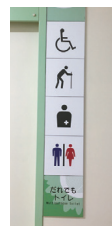


改修前 北校舎西側3Fトイレ



既存便器の配置を活かし、必要器具数をレイアウト。この他、北校舎東側、南校舎トイレも改修された。

## 立川市立第六小学校



多機能トイレ(だれでもトイレ)を設置してバリアフリー化。

第六小学校は、2015年4月から翌年8月までの期間で大規模改修事業を実施しました。エレベーターが設置され、校舎各階の男子トイレ、女子トイレ内にはすべて車いす使用者用トイレが導入されました。1階には、「だれでもトイレ」も新設されました。



子どもたちが手洗いをしながら会話が生まれるような、楽しい雰囲気の男女共用の手洗い場。波型にカットされたカウンターが柔らかな雰囲気を演出。

学校トイレの  
改修事例

06

## 岐阜県安八郡安八町 あんぱち むすぶ 安八町立結小学校

性的マイノリティにも配慮、誰でも使える「みんなのトイレ」を全フロア設置

### 子どもたちからの要望が トイレ改修を後押し

「トイレの水がなかなか流れません。一生懸命に掃除しても臭い。何とかしてほしいです」

2016年6月、結小学校の6年生の男子児童が「ゆめ会議」で発言しました。「ゆめ会議」は、年に1度、同校の1年から6年までの全クラスの代表と、校長先生、PTA会長が集まって、学校生活をよりよくする話し合いの場。児童の意見に耳を傾け、改善できるところは改善してきました。

結小学校の校舎は1997年に一度大規模改修をしましたが、トイレはほぼ和式のまま20年以上経過。古くておうちトイレが子どもたちの困りごとでした。同校の金森透校長は言います。

「費用がかかることはわかっていますが、子どもたちが困っている以上何とかしてほしいと、教育委員会にお願いに行きました」

学校側の要望で同小学校のトイレを見に行ったのは、教育委員会  
の野村あゆみさんです。

「男子トイレでは、『流れない』

『流れが悪い』というシールが半数ほどの便器に貼ってあった。子どもたちは限られた休み時間で使えるトイレを選んでいる状況。これはまずいと思いました」

タイミングよく国の補助金が入り、内定し、トイレ改修が行われることになりました。

「社会科で地方自治など勉強している6年生の子どもたちには、『ゆめ会議』のみんなの意見が町議会で取り上げられ、国の予算も使用してトイレ改修が実現したと話をしました」(金森校長)

「目指したのは、明るくて、きれいで、何の違和感もなく入れるトイレです」(野村さん)

改修に当たり、事前に児童にアンケートを取ると、家庭のトイレの洋式化率が95%以上で、温水洗浄便座の利用率が3割以上。結小学校のトイレも100%洋式化し、温水洗浄便座も設置しました。器具類は改修時点での最新式を選択することに。

「洗浄不良の原因は、圧倒的な水圧不足で、高架水槽をさらに



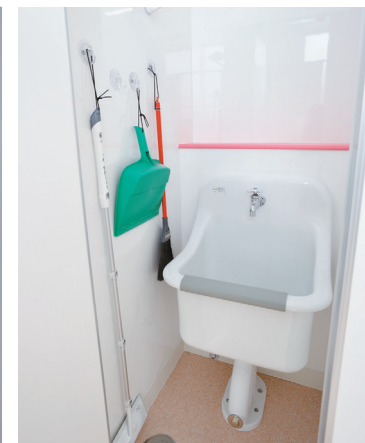
各フロアに設置された「みんなのトイレ」。跳ね上げ手すりとL型手すりの設置で、車いす使用者に配慮している。



1階女子トイレ。連続洗浄可能なタイプで、次々とトイレが使える。



女子トイレのブースの後方棚には、アクセントにピンクを使って楽しい雰囲気。



トイレ掃除用具入れ。整美委員会の児童と先生と一緒に掃除の仕方を考えた。



男子トイレと女子トイレの間に作られた「みんなのトイレ」。誰でも使えることが伝わるよう、いろいろあるマークや色を検討・協議して選定した。



高くする必要があった。でも費用  
がかかりすぎる。水圧が低くても  
流れやすい低水圧対応器具に新  
しく変えることで、洗浄不良の問  
題は解決できました」（大建設計  
古川富士雄さん）



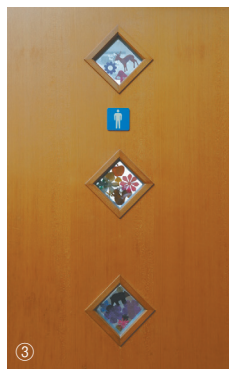
「みんなのトイレ」は男女が一緒に掃除をすることも。



掃除がしやすいように小便器は壁掛け式に。小便器のすぐ下の床には、防汚性に優れた素材を採用。



昇降口には車いすのまま入れるようにスロープを設置。



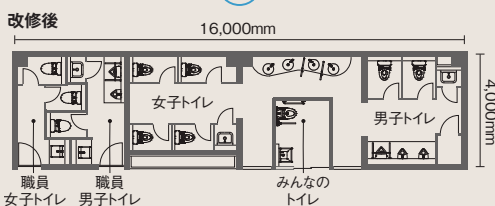
①洋式便器となり、掃除もしやすい。②女子トイレ内の洗面コーナー。感染症対策として非接触の自動水栓に。角が丸いミラーで温かみのある空間に。③職員用男子トイレのドアは、中が見えないように小窓にフェルトをあしらって。

## DATA

- 名称：岐阜県安八町立結小学校
- 所在地：岐阜県安八郡安八町西結1065
- 児童数：324名(2018年4月)
- 施主：安八町
- 設計：大建設計
- 施工：不二産業
- 竣工年月：2017年9月(改修)



職員 職員  
女子トイレ 男子トイレ



職員 職員  
女子トイレ 男子トイレ

男女の洗面コーナーを活用して多機能トイレの場所を捻出。男女トイレへの通路を確保しつつ介助者が入っても、車いすの取り回しができるようスペース取りを工夫した。

「エレベーターも設置してもらったので、1フロアだけにあればいい」という考え方もある。でも、トイレは用を足したときにすぐに行きたい場所。移動している間にもうしたりでもしたら、子どもたちにとってよくない。各フロアに必要です」(金森校長)

今後、入学してくるかもしれない性的マイノリティの子どももや、

「エレベーターも設置してもらったので、1フロアだけにあればいい」という考え方もある。でも、トイレは用を足したときにすぐに行きたい場所。移動している間にもうしたりでもしたら、子どもたちにとってよくない。各フロアに必要です」(金森校長)

「小さい頃から誰でも使えるトイレに慣れて、子どもたちが自然と偏見の目を持たなくなればと思っています」(野村さん)

車いすを使用する児童のために、今回の改修では、これまで二つもなかった多機能トイレを全フロアに設置しました。

「このトイレを見たときに「子どもたちが『僕もケガしたら使っているの?』と聞いてきました。『当たり前だよ。みんなのトイレって書いてあるでしょ。誰が使ってもいいんだよ』と伝えました」と金森校長。

誰でも使えるトイレに早くからなじんでほしい

教育の観点から、「みんなのトイレ」と名づけました。

# 愛知県豊川市 豊川市立一宮西部小学校

学校トイレの  
改修事例

07

1年後レポート



廊下からのトイレ入り口に「みんなのトイレ」の表示が大きく掲げられている。



6種類のサインが併記され、誰でも自由に使うことができることがわかる。一般トイレと違い、ドアの上部が開いていないので、外を気にせず用が足せて安心。



家のようにホッとできる、広い個室空間。



5年生112名のうち100名が利用している「みんなのトイレ」。1人当たり年間5回使われていることがわかり、先生方も驚いている。

## 性的マイノリティが特別ではないと みんなのトイレが教えてくれた

豊川市立一宮西部小学校では、2017年に完成した「みんなのトイレ」の1年間の利用状況についてアンケートを取りました。

結果は5年生の9割ほどが使用したことがあるとわかり、清潔、広い、温かいといった意見や、「男女差を気にしないのがよい」と書いた児童もいたそうです。

みんなのトイレは、新聞やテレビでも広く取り上げられ、岐阜の大学生や名古屋の高校生も見学に来れました。国際文化を学ぶ高校生は「これが普通になるといい」と述べていたそうです。

「みんなのトイレができたのを機に、5年生を対象に男女の性差を教える中で、LGBTのことも教えました。子どもたちの反応は全く普通に『あ、そうなんだ』というもの。担任は初めてのことで緊張していたようですが、子ども

ちの方が柔軟性があつたようです」

(柴田斉子校長)

5年生にLGBTについて説明をした、学年主任の佐々木孝治先生は語ります。

「特別感をもってほしくないし、偏見をもたれないようしっかり伝えたい。みんなのトイレはそのきっかけになった」

みんなのトイレを使った経験があり、佐々木先生の授業を受けた5年生は、

「LGBTの人がいることは変なことではないので、普通に対応すればいい」(田中太智さん)

「LGBTが特別な存在ではないと、先生から受けた授業で思いました」(田中倅太さん)

LGBT以外にもいると聞いて



5年生学年主任の佐々木先生。

自習レポートを作成した児童に、佐々木先生も驚かされました。何も無いところで急に性的マイノリティを取り上げると言っても、実際は難しい点も多いでしょう。

「この学校ではみんなのトイレがあるから、当たり前にある性的マイノリティのことを普通に伝えることができる。子どもたちの自由選択で、好きなものを使えることも大切」と市教育委員会の塩野谷宜和さん。

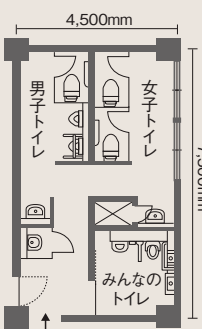
「みんなのトイレ」は、自由に使えるトイレというだけでなく、もはや人の多様性を理解するための資産と言ってもいいのかもしれない。



学校通信で保護者にも「みんなのトイレ」を紹介。

### DATA

- 名称: 愛知県豊川市立一宮西部小学校
- 所在地: 愛知県豊川市一宮町緑1
- 児童数: 592名(2018年4月)
- 施主: 豊川市
- 設計: CREBLE
- 施工: 小山鉄工建設
- 竣工年月: 2017年2月(改修)



### 改修後

廊下からの入り口は共用となっており、前室を設け、右手に多機能トイレ、奥に男女トイレがある。廊下から見たときにどこのトイレに入ったかわかりにくい。

# 学校のトイレ研究会とは？

今あるものをそのまま活かす、  
エコメンテナンス

## キレイなトイレに蘇る クリーニング工法

日常生活に不可欠なトイレ。弊社は「使う人の身になったとき、何を提供できるか」を、考え方の原点としております。

トイレを蘇らせる特殊清掃に加え、施工後の実技研修を通して、トイレをキレイに維持するメンテナンスアドバイス等も行ってまいります。

さまざまな制約の中でも、学校のトイレを変えたいというニーズを実現するクリーニング工法です。

## トイレの「キレイ」を創る会社

根本的クリーニング&メンテナンスで  
学校トイレの“今”と“これから”を変える



さわやかなトイレ環境を創造する  
株式会社 木村徳太郎商店

株式会社木村徳太郎商店

〒112-0004  
東京都文京区後楽2-5-1  
03-3811-2919  
<http://www.toku-kimura.co.jp/>

子どもたちが喜ぶ、明るく、  
入りやすい学校トイレを提案します

## 学校トイレの洋式化に 最適なトイレブース

学校向けトイレブース「ウェイブレット ES」は、ドアが円周上をスライドするので、和式便器と同じブーススペースでも洋式便器に当たらない省スペース設計。内引きで、ドアをよけることなく開閉でき、出入りもスムーズ。車椅子対応タイプも品揃え。トイレの洋式化改修工事に最適です。

清掃用具をきれいにきちんと保管するための清掃用具ハンガー「カケット」も、きれいなトイレづくりの必需品です。



**OKamura**

株式会社オカムラ  
建材事業部 開発部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町2-13-5  
赤坂エイトワンビル2F  
03-5501-3396  
<http://www.okamura.co.jp/>

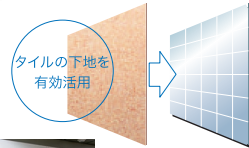
毎年1,000校以上の小中学校で  
ご採用いただいております

## 堅牢性・清掃性・意匠性に 優れた壁装材「セラルル」

「セラルル」は3ミリ厚のメラミン不燃化粧板で、トイレブースやカウンターに使われるメラミン化粧板や、鉄扉や窓枠等を仕上げる化粧フィルムのオルティンと同柄が揃うことが特長です。

タイル壁の改修工事には環境に配慮した「セラルル ONタイル工法」もあります。タイルの上から貼るだけの工法で「工期短縮」「廃材削減」「騒音低減」を実現します。

サインやロゴ・イラストなどのデータを壁面材にできる「セラルル グラフィカタイプ」も好評です。



**AICA**

アイカ工業株式会社  
設計推進部

〒163-0822  
東京都新宿区西新宿2-4-1  
新宿NSビル22F  
03-6770-2007  
<http://www.aica.co.jp/>



ポスター-ウラ面

ポスター-オモテ面

学校のトイレ研究会ホームページ  
<http://school-toilet.jp>

学校トイレ  で検索

学校のトイレ研究会  
古里宏司

例えば、安全最優先で食器用洗剤を薄めて使う、また学校の判断で、便器まわりと床の清掃を別の曜日に分けることを書き込めるようにしています。

学校でのトイレ清掃は、小学生であれば初めての清掃体験だと思います。新学年になって清掃する段階で、学校職員の方が実践指導することが大切です。このポスターを張り出して、説明するなどして、トイレの清掃指導にご活用ください。

編集後記

添付の「おそうじポスター」について

今号では児童・生徒向けの清掃マニュアルとして「おそうじポスター」を添付しています。ウラ面は学校職員向けとして嘔吐物の清掃方法や災害時のトイレ使用方法も紹介しています。研究会のホームページから無料でダウンロード印刷できますので、学校現場でぜひご活用ください。

当研究会は学校トイレの実態をソフト・ハードの両面にわたって調査・研究することにより、児童・生徒が安心して使える清潔で快適なトイレを具体的に提案・普及していくことを目的に、トイレ関連企業により1996年11月に発足いたしました。  
発足以来、毎年研究誌を発行し、各種講演会を実施するなどの活動を継続しています。

## 快適でメンテナンスしやすい 学校トイレのために

### 木目柄も好評発売中 トイレ用床材「サニタリウム」

学校トイレの快適化のために、研究会発足当時からご提案をさせていただいています。

2007年には業界初となるトイレ用床材「サニタリウム」を発売。

厚い防汚コーティングが尿によるシミ・汚れや、トイレ洗浄剤、カビ取り洗浄剤による変色から強力にガード。

乾式清掃に最適なノーワックスメンテナンス仕様の超防汚性ビニル床シートです。



ロンシール工業株式会社

〒130-8570  
東京都墨田区緑4-20-7  
アステ21 6F  
03-5600-1803  
<http://www.lonseal.co.jp/>

## トイレの後の手洗いに 薬用石けんの習慣を

### 殺菌力に優れた 薬用手洗い石けん液

まだまだ固形石けんを使用されている学校が多くありますが、固形石けんは菌の温床になっていることが判明してきました。

感染症や食中毒の主な原因は不十分な手洗いです。「トイレの後は必ず薬用液体石けんで手洗い」の習慣付けがとても大切と考えます。

弊社は殺菌・消毒用手洗い石けん液（医薬部外品）等の薬剤・洗浄剤の提供・啓発活動を通じて、学校のトイレの衛生レベル向上に貢献してまいります。



殺菌剤・塩化ベンザルコニウム配合の「薬用ハンドウォッシュBG」5kg。

洗浄と衛生管理に快適ソリューション



株式会社ニイタク

〒532-8560  
大阪府大阪市淀川区新高1-8-10  
06-6395-2717  
<http://www.niyataka.co.jp/>

## 子どもたちが安心して学べる トイレ環境のリモデル

### リモデルにおすすめ。 「パブリックコンパクト便器・ フラッシュタンク式」 「和洋リモデル工法」

「パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式」は、TOTOが培った便器洗浄技術で実現したパブリックの新定番。タンク式と同じ給水口径15Aで、連続洗浄が可能になりました。

また、一般的な大便器と比較して奥行き60mmもコンパクト。限られたスペースにおすすめです。さらに施工もラクラクで、掃除口付きタイプも品揃えています。TOTO「和洋リモデル工法」（階下に影響を与えない1フロア工事・2日間施工）と合わせ、学校トイレの改修におすすめいたします。



あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**

TOTO株式会社  
プレゼンテーション企画グループ

〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-1-5  
JR南新宿ビル6F  
03-5309-2007  
学校トイレに関する情報・カタログはこちら  
<http://www.com-et.com/>

学校のトイレ研究会研究誌 21号

トイレが変わる、トイレで変わる

# 学校トイレの 挑戦!

発行日 / 2018年(平成30年)8月6日

\* 無断で本誌の全体、または一部の複写・複製・掲載を禁じます。  
\* 本誌の著作権はすべて「学校のトイレ研究会」に帰属します。

●編集・発行  
学校のトイレ研究会

アイカ工業株式会社 株式会社オカムラ  
株式会社木村徳太郎商店 TOTO株式会社  
株式会社ニイタク ロンシール工業株式会社

●事務局

〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-1-5 JR南新宿ビル6F TOTO株式会社内  
TEL: 03-5309-2007

●編集委員

アイカ工業株式会社	石井寛之	西尾正人	菅井隆博	園野智史
株式会社オカムラ	井上 豊	中島徳二		
株式会社木村徳太郎商店	木村基治	山本隼矢		
TOTO株式会社	河村 浩	井尾加奈子		
株式会社ニイタク	古里宏司	中西真人		
ロンシール工業株式会社	西本真治	井上沙織		

●制作  
榎林次郎(共同印刷株式会社)

●編集協力  
柴山幸夫(有限会社アクエスト) 小川真理子(クロロス)

●デザイン  
狩野 徹 梅田岳定(有限会社ファイブ)

●撮影  
鶴澤昭彦(有限会社スタジオ・パワー) 石井明和 浅沼ノア

●印刷・製本  
真生印刷株式会社

●表紙写真  
岐阜県安八郡安八町立結小学校(26~28ページ掲載)

学校のトイレ研究会研究誌

トイレが変わる、トイレで変わる

# 学校トイレの挑戦！

## 学校のトイレ研究会

学校のトイレ研究会は、学校のよりよいトイレ環境づくりをめざして、トイレ関連企業が結集し、1996年に発足しました。以来、各社の情報力、技術力を活かしながら、調査・研究・啓発活動を継続しています。

## 学校のトイレ研究会研究誌

学校のトイレ研究会は、学校トイレづくりの調査・研究の成果をまとめた研究誌を毎年、発行しています。ホームページで閲覧、取り寄せができます(無料)。



## 学校トイレ ノウハウブック

学校のトイレ研究会発足以来、調査研究を重ねてきた知見をベースに、空間・設備・清掃メンテナンスのあり方や具体的ノウハウをまとめた一冊。



## 学校のトイレ研究会ホームページ

<http://school-toilet.jp>

学校トイレ 🔍 で検索

- 学校のトイレづくりに役立つ、さまざまな情報を掲載しています。
- 学校のトイレ研究会研究誌取り寄せ
  - 学校トイレ改修のさまざまな事例
  - トイレづくりのポイント
  - 清掃やメンテナンス方法

